

2017年度 シラバス情報表示画面

科目コード : 13914 単位数 : 2

科目名	日本国憲法	科目責任者	山田 隆司
課題と試験担当教員	山田 隆司、大塚 康子		
履修方法	F スクーリング学習・テキスト学習どちらでも可		
ナンバリング	CGSOC102		

■ 科目概要

本授業では、日本国憲法についての基本を学びます。

まず、憲法とは何か、その目的を理解し、日本における憲法の歴史を概観します。

そして、基本的人権尊重主義、国民主権主義、平和主義という日本国憲法の基本原理を考察します。

とりわけ、基本的人権の尊重については、総論・各論に分け、詳細に学修します。

その後、統治機構について理解を深めます。中央の機構として国会・内閣・裁判所にとどまらず、地方自治に関する問題も学んでいきます。

授業では、単に知識を習得するだけでなく、「考える力」を付ける工夫をしていきます。

■ 到達目標

日本国憲法の目的および全体構造を理解することが到達目標です。

■ 科目の計画・内容

学習範囲 該当する章など	学習内容
第1章	第1章 憲法とは何か 第1節 憲法の目的 第2節 憲法の分類 第3節 憲法と立憲主義
第1章	第1章 憲法とは何か 第4節 日本憲法史 1. 明治憲法 2. 日本国憲法 第5節 憲法保障 1. 最高法規 2. 憲法改正 3. 抵抗権・国家緊急権
第2章	第1章 憲法とは何か 第4節 日本憲法史 1. 明治憲法 2. 日本国憲法 第5節 憲法保障 1. 最高法規 2. 憲法改正 3. 抵抗権・国家緊急権
第2章	第2章 日本国憲法の基本原理 第2節 平和主義 1. 平和主義の系譜 2. 戦争の放棄 3. 戦力の不保持

学習範囲 該当する章など	学習内容
第3章	第3章 人権総論 第1節 人権とは 第2節 人権の分類 第3節 人権の享有主体 第4節 基本的人権と公共の福祉 第5節 私人間における人権保障 第6節 包括的基本権と法の下での平等
第4章	*メディア授業の理解確認のため小テストを実施 第4章 人権各論 第1節 精神的自由 1. 内心の自由 ア) 思想・良心の自由 イ) 信教の自由 ウ) 学問の自由
第4章	第4章 人権各論 第1節 精神的自由 2. 表現の自由 ア) 表現の自由の意味 イ) 表現の自由の内容 ウ) 表現の自由の限界 エ) 集会・結社の自由 オ) 通信の秘密
第4章	第4章 人権各論 第2節 経済的自由 1. 職業選択の自由 2. 居住・移転の自由 3. 財産権の保障
第4章	第4章 人権各論 第3節 人身の自由 1. 基本原則 2. 被疑者の権利 3. 刑事被告人の権利
第4章	第4章 人権各論 第4節 社会権 1. 生存権 2. 教育を受ける権利 3. 勤労の権利 4. 労働基本権 第5節 国務請求権（受益権） 第6節 参政権
第5章	第5章 統治機構 第1節 国会 1. 権力分立 2. 国会の地位と構成 3. 国会の権能 4. 議院の権能 5. 国会の活動
第5章	第5章 統治機構 第2節 内閣 1. 内閣の地位 2. 内閣の組織と権能 3. 議院内閣制

学習範囲 該当する章など	学習内容
第5章	第5章 統治機構 第3節 裁判所 1. 司法権 2. 裁判所の構成と権能 3. 違憲審査権 4. 司法権の独立
第5章	第5章 統治機構 第4節 地方自治 1. 地方自治の保障 2. 地方公共団体 3. 条例

■ ディスカッション・ペアワーク

ディスカッション・ペアワークを行う場合があります。

■ DVDに関する内容理解の確認方法

面接授業1回目に小テストがあります。

■ 学習方法・評価

種別	評価基準
試験	①出題意図を理解したうえで、それに応えているか。 ②答案の書き方（段落がえ、句読点、誤字・脱字に注意など）を踏まえ、文章を論理的に構成しているかどうか。
レポート	①出題意図を理解したうえで、それに応えているか。 ②レポートの書き方（段落がえ、句読点、誤字・脱字に注意など）を踏まえ、文章を論理的に構成しているかどうか。

■ 評価方法

<スクーリング学習>

○スクーリング試験：100%

<テキスト学習>

○科目試験：70%

○レポート：30%

■ 教科書

書名：日本国憲法
著者名：山田隆司
出版社名：創大通信教育部
出版年：
版：
刷：
ISBN：

■ 参考書

- ・ 著者名：山田隆司
- ・ 書名：戦後史で読む憲法判例
- ・ 出版社：日本評論社

- ・ 出版年および版：2016年
- ・ 定価（税込）：2376円

■ 履修上のアドバイス

日頃のニュースに関心を持ちましょう。ニュースの中には、意外に多くの憲法に関する問題がひそんでいます。

■ 自習時間

<スクーリング学習>

スクーリング前にDVDで約8時間、レポート作成では1課題あたり20時間学習してください。

<テキスト学習>

レポート作成では1課題あたり20時間、科目試験のために最低40時間学習してください。

■ 担当者のプロフィール

創価大学法学部卒業（11期生）

大阪大学大学院法学研究科後期博士課程修了。博士（法学）

現在 創価大学法学部准教授（憲法担当）、法科大学院兼任